

サプライチェーンマネジメント

●CSR調達

東洋インキグループは、「原材料購買規程」を制定するとともに、「調達基本方針」「調達先選定基準」に基づいたCSR調達を推進しており、CSR調達を通じて、サプライチェーンにおける順法性の確保、労働環境・地球環境の改善に貢献したいと考えています。

このため、①調達基本方針の周知、②お取引先に対する検証・監査、③社員の理解深化、の施策を実施しており、2018年度は CSR調達のグローバル展開に向けて、中国地区および韓国での調達基本方針の周知などの活動を行いました。

●サプライチェーンマネジメントに関する調査への対応

近年、Sedex (Supplier Ethical Data Exchange) や EcoVadis など、第三者のプラットフォームを用いて、お客様から労働慣行や環境、労働安全等に関する調査が行われています。東洋インキグループは、これらの調査への対応を通じて、お客様と共にサプライチェーンマネジメントの構築を進めています。

- ・ Sedexの評価(トーヨーケム(株)川越製造所) : SAQ リスクスコア 1.16 (Low)
- ・ EcoVadisの評価(東洋インキSCホールディングス(株)) : 52 (SILVER)

GPN「持続可能な調達アクションプログラム」による評価

2018年6月から登録が開始されたグリーン購入ネットワーク(GPN)の「持続可能な調達アクションプログラム」において、東洋インキSCホールディングス(株)はすべての項目で回答平均を上回り、4段階評価で「B」という結果でした。

■ 東洋インキSCホールディングス
■ 平均値

4段階評価
(A・B・C・D)
B

※平均値は2018年12月末時点

